

死歿者調書

(行方不明者)

奈良地方世話部第二役員課長

本籍地	[Redacted]	
現住所	[Redacted]	
所屬部隊	元山海軍砲臺隊	
入團月日	昭和四年一月	役種 第二補給兵
官等級	兵	兵種 水兵
内地派遣	赴南洋	入籍前
戦地到着年月日	[Redacted]	
勤務概要	マビリヤ 昭海州よりマビリヤに於て、ソ連軍と戦ふ中	
父兄當時状況	[Redacted]	

67715

發病及他年月日	病名(受傷部位)	發病當時	死後葬處及日期	石中告入	昭和多少年	本籍地	歸鄉地	告	者
深暴失調症			昭和多少年一月十六日		昭和多少年一月	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			昭和多少年一月十六日			[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			昭和多少年一月十六日			[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

謹啓 便りの趣き承知仕候

早速別紙證明書郵送仕候間市受取被下

度候

君は昭和十九年十一月廿二日

千々洲ダラスン収容所に到着小生と同じく第四中隊

にて作業中なりしが昭和十九年十一月廿二日發病當時

は中隊内にて静養中ありしも快復せざるにより今年

全月十七日前記収容所病室に入室療養に専念り

甲斐ありて一時経過良好ありしも今年十二月三十一日夜

候に重態となり藥石効ふく昭和二十年一月一日午前

七時十五分頃榮養失調にて死去したることを小生は見

福

満したるものにて御座候以上

昭和二十年九月二十七日

様

4026

144-16

14-17

死亡證明書

元海軍一等工兵

君は

ソ聯領千夕洲ダラスン収容所に於て昭和三年
一月一日朝榮養失調にて死去したるものなり
右の通り確實に見届けたるに付證明す

昭和三年九月二十七日

元海軍一等工兵

福岡縣

舞強連第 二部の七三

昭和二十二年六月五日

舞鶴上陸地連絡所長

各復職務處理部 復員業務課長殿

死歿者に關する件通知(等 辦)

左記はテポトカより舞鶴に搬送した各頭書の者の申告によるものである。

卷

[illegible]

舞後連第 二歸

昭和二年四月十九日

舞鶴上陸地連終所長

答復殘務處理部 複員業務課長殿

死殺者に關する件通知（茅薙）

左記は、ハルカよ、舞鶴に販運した各頭書を著の申告によるものである。

訖

[illegible]

7

舞鶴上陸地連絡所長

各復殘務處理部役員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（第十七號）

左記は「アホトカ」より舞鶴に販送した各頭書の者の申告によるものである。

[illegible]

舞復連第二號一六拔萃（舞鎖團係）

昭和十一年十月至日送附分

舞復連第二號員譯

舞鶴地方復興業務處理部復興係殿

死亡者に周知件通知

般卿先

五二警署	所屬部商名	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事
五二警署	等級	氏名	死亡年月日時	本籍地	確認	記事

和三年十月五日

十月六日選科

所聘引揚揚護局員部第二海軍部長

這方其為殘訪處理部員業務課長

國庫民生部第二言語課中言語員科(係)長 長

死致者に關すは傳通知牙之七号

左記は、赤田より青島に回還し、在野書者、申上るものである。

記

[illegible]

庭に於て不義を中積んであるが故に不義の行を責めしむるに剛の氣

予増年爲粗老で、エホ病院裏窓の遠くを望むに、

凡此一書二卷

Chloroballus

卷之五

卷之八

卷之四

治三十一日三月廿五日
 病隆大陽主之時
 而約一目前此也

[illegible]

應因は同病院に作業中あり、靴修理中にて、右足の履き痛が起る。

翌朝死之

卷之四

新武庫

SECRET

不盡死

21
8
58

17

11

一、カブリヤを流して培ふ葉は、(可幅約 50 葉) 二三日、降雨

水之流不息猶如危險之處也之行業中是謂

溪山圖卷之三



裏面記載上の注意を見て書いて下さい(※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく質問を
官に問うて下さい)

11-12

一、本証明書は、未帰還者の死亡の処理を行う場合の基本となる証據書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記憶が不確実なる箇所には「？」をつけてその旨を明かにして下さい。

二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した（見た）死水をとつた、臨終に立合つた、屍衛兵に立つた、慰霊祭又は葬儀に立合つた、誰々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。

三、死亡当時の、状況はなるべく詳細に記入して下さい。又参考資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知っている人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴（容貌、体格、特長、前職等）」「死亡者が軍属の場合は、その官等俸給（日給）、採用年月日等」その他死亡者について御承知になつてゐることは附記して下さい。

四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補償した場合「」を附して記入し、資料提供者の記入したものと明瞭にすること。

4038

死亡年月日

時16

死亡場所

本所

北七區分

病死

死亡時之狀況

榮養失速ニテ枯木ニ枯レル如ク死スニ至ル

右の通り承知してゐますから申告致し奉可

昭和二十二年八月六日

人



海軍上水兵

大系

告
本籍地

100

者
規
矩
所

本籍地ニ合
ジ

所屬部

元山海軍航皮隊才十兩令隊

備考

（本調書は死體者の身上關係一切を處理するものであるから

慎重に思ふ詳細に記入して下さる

ニ他人から聞かして承知し、大事項は真の旨を毫余白に記入し、下

是書、小生を切なり。おとしが先、
 水（うち）
 人（ひと）

二 宿 哉 や し か 未 夕 病 卒 五



元

7

舞後蓮茅二號の六〇

舞後連第二號可六。

昭和二十二年四月二十七日

舞鶴上陸地連絡所長

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（第 號）

左記は、サホトカより舞鶴に返還した各頭番の者の申告によるものである。

五

御

先

[illegible]



死歿者調書

本籍地	現住所	所属部隊	年 月 日	官等級	氏 名	役 種	入籍番号
	同 右	元山航空隊	昭和二〇、五、一	一等水	[Redacted]	陸軍 砲兵	[Redacted]
昭和二十年七月初旬							
昭和二十年七月							
朝鮮元山航空隊より主として防空隊作業に従事し、木下、要河と							
昭和二十年九月、成興隊内より、シベリア沿岸州へ一ヶ月に渡り、							
新次、衣箱と車一輛							
（官給矢調（機降下痢））							
一時小病に侵れ、作務に支障をきたし、その後、再び病に侵れ、							
昭和二十年一月十七日、病に侵れ、入院、衰弱をきたし、							
昭和二十年一月十七日、病に侵れ、入院、衰弱をきたし、							

左 申告可

海 軍

昭和二十四年一月三日

本籍地

現住所

部隊名

氏名

元山航空隊

官等級

海軍上等水兵

入籍番号

備考

知得したる事項ハ出来得ル限り詳細ニ記載ス

69073

23

課長

本籍地	現任所	所屬部隊	入隊年月	官等	内地離隊出發年月日	外地離隊年月日	勤務ノ概要	發病受傷一年月日	病名(受傷部位)	發病(受傷)又ハ
		元山海軍航空隊	昭和八年十二月一日	少佐	昭和九年一月五日	昭和九年七月十日(朝鮮元山)	鐵道作業中、電車に乗り込み、三級二ヶ月、五日ハ休業してイタ	昭和九年一月十三日	下痢、嘔吐、腹痛、衰弱	死スル迄元氣無シテ居リタリ

死 屍 害 害 害

職務主任

死亡年月日時刻及場所

昭和二十一年一月二十日午後三時頃 東京市豊島区大塚

右 申 付 ス

昭和 年 月 日

入付人 大塚市役所 長官

本籍地	現住所	所属部隊	氏名	官等級	入等番號
	右同上	元海軍航空隊		海軍少佐	

備考

(一)本陣營ハ部隊長又ハ要務取扱者等ニ於テ奥知方復員局人事部長宛通報シ非スト認
ムルモノノミニ付記載ス

(二)奥知在道ノ特務士官、准士官、下士官、兵ニ付記載ス

(三)同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス

(四)知得シアル範圍ニ於テ出衆得ル限リ詳細ニ記載ス

(五)他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該部ニ相手方ヲ記載ス

内送付 先

奥市

奥知方復員局人事部長宛



昭和二十二年六月五日

舞鶴上陸地連綿所長

各復職務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件通知（等 辦）

左記はナホト方より舞鶴に取還した各頭書方者方申書によるものである

託

遺骨護送者

4046



舞復連第二號の「〇七」

昭和三年二月十日

舞鷲上陸地連絡所長

各復残務処理部復員業務課長殿

死歿者に関する件通知（第五號）

左記は「下カ」より舞鷲上陸地連絡所長各頭書の者の申告によるものである。

記

甲種者	乙種者	丙種者	丁種者	戊種者	己種者	庚種者	辛種者	壬種者	癸種者	甲種者	乙種者	丙種者	丁種者	戊種者	己種者	庚種者	辛種者	壬種者	癸種者
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷
先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先
死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿	死歿
病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死
赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢
2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1	2/1
2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26	2/26
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍
地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事	記事
煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒	煙毒

死 亡 (現) (確) 認 証 明 書

資 料 者 亡 死		現 留 守 住 所 者		本 籍 地		所 属 部 隊	
死 亡 日 時	死 亡 場 所	傷 病 名	死 亡 区 分	死 亡 日 時	死 亡 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時
昭 21. 1. 26.	スーチヤン地一合所	栄養失調	昭 21. 1. 26.	スーチヤン地一合所	栄養失調	昭 21. 1. 26.	スーチヤン地一合所
※ 甲	※ 甲	※ 甲	※ 乙	※ 甲	※ 甲	※ 乙	※ 甲
死亡当時の状況及び参考資料		死亡区別		死亡原因		死亡場所	
本名は昭 20. 10. 20. スーチヤン一合所に入所し、自分 達と一緒に炭坑作業に従事していたが、昭 21. 1. 26. 頃、栄養失調に罹り、一合所幕舎内に就床し、 翌日から其後病勢月増に悪化し、昭 21. 1. 26. 同 幕舎内に於て死亡した。		死亡区別 昭 21. 1. 26.		死亡原因 栄養失調		死亡場所 スーチヤン一合所	
本名は昭 20. 10. 20. スーチヤン一合所に入所し、自分 達と一緒に炭坑作業に従事していたが、昭 21. 1. 26. 頃、栄養失調に罹り、一合所幕舎内に就床し、 翌日から其後病勢月増に悪化し、昭 21. 1. 26. 同 幕舎内に於て死亡した。		死亡区別 昭 21. 1. 26.		死亡原因 栄養失調		死亡場所 スーチヤン一合所	
本名は昭 20. 10. 20. スーチヤン一合所に入所し、自分 達と一緒に炭坑作業に従事していたが、昭 21. 1. 26. 頃、栄養失調に罹り、一合所幕舎内に就床し、 翌日から其後病勢月増に悪化し、昭 21. 1. 26. 同 幕舎内に於て死亡した。		死亡区別 昭 21. 1. 26.		死亡原因 栄養失調		死亡場所 スーチヤン一合所	

裏面記載上の注意を見て書いて下さい。※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞いて下さい。

一、本証明書は、未帰還者の死亡の処理を行う場合の基本となる証據書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記憶が不確実なる箇所には？をつけてその旨を明かにして下さい。

二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した（見た）死水をとつた、臨終に立合つた、屍衛兵に立つた、慰靈祭又は葬儀に立合つた、誰々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。

三、死亡当時の、状況はなるべく詳細に記入して下さい。又参考資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知っている人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴（容貌、体格、特長、前職等）」「死亡者が軍属の場合は、その官等俸給（日給）、採用年月日」その他死亡者について調査知になつてゐることは附記して下さい。

四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補偏した場合「」を附して記入し、資料提供者の記入したものと明瞭にすること。

4049

舞後連第二席の六九

昭和二十二年六月十五日



舞鶴上陸地連絡所長

各復残務処理部 復員業務課長殿

死歿者に関する件通知(第 辨)

左記はナホトカより舞鶴に飯送した各頭書の者の申告によるものであり

記 遺骨護送者

遺送者	氏名	級	姓	籍地	備考
名山空上水	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
名山空上整	病死	大塚	日野	本籍地	死体埋葬 遺骨内容 (直野川)

元仁元年八月時新永物所
 石 申告ス
 昭和三年一月三日日 朝時刻不明 勿多かた之役金所ニテ我元
 天ノ金ニ收才金ナリ

昭和三年 四月 日

申告書			
氏名	所屬	職名	備考
[Redacted]	海防艦隊	同	[Redacted]
官 署 姓 名		一 官	
入ノ格者 電		[Redacted]	

(一) 尋常在籍スハ力所ノ新勇士官、在士官、官士官并及軍属。付記載ス
 (二) 船行シアル範圍ニ於テ出来得ル限り詳細ニ記載ス
 (三) 他ハヨリテア承知シタル事項ハ各該機關ニ照テカウ記載ス
 (四) 知便シマイ項目ニシテハ記載シテアモヨイ
 (五) 虚偽ハ罪重方罪重局人重罰置肥

裏面記載上の注意を見て書いて下さい（※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞いて下さい）

4053

申告

戦病死者
本籍地及現住所
留年祖父母
氏名及続柄等

戦病死者
所屬部隊名
及氏名

朝鮮元山海軍三五四部隊
二國海軍技術一等兵

昭和貳拾年四月元日吳海兵團之因シ爾末
隊ニシテ終始行動ヲ其ニ居リシガ終戦トナリタル爲シベリヤ
スウヤヤニ送移サレ作業實施中ノ所昭和貳拾年元月
廿日午前参時頃、突如失調ノ爲ニ死セリ

其遺骨ハ

[REDACTED]

氏ガ戰友ノ保管ニ居リタルニ其ノ本人又

死セシム其遺骨不明トナル其ノ後自分又突如失調ノ爲
スウヤヤニ病院ニ入院中、今年七月武蔵野ノ相セフト港ヲ出港

慎重調査

中告書

情報

(所長書)

片時依り敵陣見送りし大敵は水原を去りた。奥村地味身事、可。夜現持日
街推察致し三月。私。知。り。た。花。園。に。行。き。ま。す。

大敵は部隊より土地のすべ大敵は大隊長は陸軍大尉と見え五死五生
参謀部所。この部隊は魔。大隊と呼ばれ一番ひどい悪。隊中。

部隊は山中にありた。大敵は。新隊。海軍。設。置。隊。は。昭和。十。年。一。月。

にこの大隊入って来りた。大敵は。収容所。を。防。衛。は。主。に。岩。坑。鉄。道。工。事。上。便。

地。中。ら。一。番。し。た。大。敵。は。大。時。二。中。隊。に。行。属。し。た。中。隊。長。は。右。江。

志。水。り。た。海。軍。の。右。江。中。尉。で。た。仕事はたしか鉄道線路図収りた。

通。信。工。事。で。た。仕事。と。は。こ。の。一。番。ひどい。と。い。う。期。待。い。中。に。去。死。

二重以上の道を歩み、東下、三下、後、西下、の行事、下、信、討、口、口、し、人、の、聲、或、者、其、
時、の、や、け、足、と、せ、ふ、取、ち、に、事、は、は、と、人、の、道、曾、か、た、の、事、持、ち、つ、ま、り、
下、り、力、を、か、け、う、れ、に、事、者、時、の、給、ふ、は、う、く、や、新、に、生、る、を、も、ま、り、
高、深、の、中、の、飯、合、の、つ、ち、に、中、了、一、杯、ち、と、も、此、に、か、水、河、を、う、て、その、あ、
に、知、と、の、宝、物、と、東、ま、の、た、め、に、御、出、て、いつ、ち、毎、日、に、事、が、ら、飯、り、に、は、二、人、後、討、反、
は、か、つ、御、出、て、来、て、死、ん、で、行、ま、す、と、是、合、の、秘、書、の、中、に、ハ、え、り、建、不、凍、死、
し、た、ち、う、く、數、へ、知、れ、が、昭和、十、年、十、月、か、ら、昭和、十、一、年、の、三、月、頃、迄、毎、日、五、人、
か、ら、六、人、位、が、死、な、つ、た、と、い、ふ、事、は、殊、に、設、置、隊、の、人、建、は、皆、年、も、と、て、
あ、つ、し、身、体、を、弱、い、に、し、れ、に、早、年、か、つ、た、と、言、は、れ、る、の、同、等、の、任、年、と、さ、れ、ら、う、と、
な、る、設、置、隊、の、人、は、殆、ど、七、十、を、つ、ま、り、
私、は、こ、れ、も、嘗、て、い、て、り、が、お、ら、も、高、時、
の、事、を、思、ひ、傳、へ、し、と、統、へ、ぬ、と、い、ふ、事、同、胞、の、兄、弟、の、次、々、と、冷、お、し、な、る、
灯、く、今、度、口、傳、へ、る、者、を、と、誰、も、考、へ、て、い、た、五、條、は、口、傳、に、し、る、人、に、
属、せ、る、事、に、當、り、吹、き、つ、ら、い、る、聖、喜、舍、に、ま、は、ら、れ、二、十、四、年、後、死、体、か、た、り、

今より忠實なれ

先にも述べた通り、**氏**の道駿と道弘も然度かの衆具検査で
粉矢形してしるすも、紙に申状ありすを

私に河内へ天にそふにたりし大かどるも、命おけは永らへ
昭和二年七月に候る事かき来す

稱り知すある限り書さすも、尚まうかこ他は聞きたり下
ありしを、一報りし

2677

(通)

ソ連地區現況不明者狀況報告

報告者ノ實姓ノ所轄（部隊名）	九〇一空	八月二十日 飯員
報告者ノ官職氏名（電報符號）	整長	（電報符號）
報告者ノ本籍地及ト現住所	（電報符號）	（電報符號）
所轄官職氏名	電報符號又ハ入籍番號	出身地
蘇聯上校	（電報符號）	（電報符號）
蘇聯上校	（電報符號）	（電報符號）
蘇聯上校	（電報符號）	（電報符號）

（電報符號）
 20年10月頃、ソ連上校として二回ソ連に赴き、
 現況を調査し、中上級幹部の死（現況）
 20年10月頃、ソ連上校として二回ソ連に赴き、
 現況を調査し、中上級幹部の死（現況）
 20年10月頃、ソ連上校として二回ソ連に赴き、
 現況を調査し、中上級幹部の死（現況）

舞後復ニ第七號ヲニ

昭和二十三年六月二十三日

舞鶴引揚援護局復員部第二復員課長

臺北地方復員殘務處理部復員業務課長殿

死没者に關する借通知（第一二號）

左記はナホトカより舞鶴に飯送^レた各頭書^リ若^クの申告によるものであり

[illegible]

昭和二年九月三日

舞鶴引揚援護局復員部茅復員課長

各地方復員殘務處理部復員業務課長殿

死没者に関す件通知（第二六号）

正記は「フボトカ」より舞鶴に販運した各頭書ク者の申告によるものである

記

[illegible]

昭和二十二年十一月二十日

各地方復員局人事部長
關係民生部第二世蘇課長殿

舞鶴上陸地連絡所長

死亡者に係る件通知(第十八號)

4064

五 一 警 言	水 長	病 死	22 11 15 18	參 照
五 一 警 言	上 曹	病 死	20 14 5	參 照

五 二 警 言	水 長	病 死	21 14 22	確 認
五 二 警 言	上 曹	病 死	20 14 5	參 照

五 一 警 言	水 長	病 死	21 14 22	確 認
五 一 警 言	上 曹	病 死	20 14 5	參 照

五 二 警 言	水 長	病 死	21 14 22	確 認
五 二 警 言	上 曹	病 死	20 14 5	參 照

五 一 警 言	水 長	病 死	21 14 22	確 認
五 一 警 言	上 曹	病 死	20 14 5	參 照

五 二 警 言	水 長	病 死	21 14 22	確 認
五 二 警 言	上 曹	病 死	20 14 5	參 照

[illegible]

(註) 宮城縣第二世話課より送付の五ヶ一表
と思われる

前記の印欄は [] 上イ箇段が級還時の調査に依り作業
大隊本部の死亡者名簿に記載されるものがある

(怒)



舞後連第二部

昭和二十一年四月十九日

舞鶴上陸地連絡所長

各機残務処理部 後員業務課長殿

死歿者に関する件通知(等 辨)

左記は、ホトカチ舞鶴に販運した各頭書のある者の申告によるものであります。

記

申告者 氏名	生年	死年	死因	死時	死所	本籍	籍地	記事
九〇一〇〇 (元山脈隊)	一工曹							
九〇一〇〇 九〇一〇〇			病死	昭和二十年四月十九日	舞鶴上陸地			舞鶴上陸地連絡所

舞後連第二號の六。

昭和二十三年四月二十七日

舞鶴上陸地連絡所長

各復残務処理部復員業務課長殿

死歿者に関する件 通知(第 第)

左記は「デルトカ」より舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

記

甲 所 籍 者	甲 所 籍 者	乙 所 籍 者	乙 所 籍 者
等級	等級	等級	等級
氏名	氏名	氏名	氏名
死別	死別	死別	死別
死因	死因	死因	死因
死時	死時	死時	死時
死所	死所	死所	死所
本籍地	本籍地	本籍地	本籍地
記事	記事	記事	記事

66

死没者調査書

(行方不明者)

本籍地	住所	所属部隊	入團月日	官階	内地派遣	戦地到着年月日	勤務概要	行方不明となつた年月日	及遺骸の状況
[Redacted]	[Redacted]	名山海軍航空隊	昭和17年1月1日	代名 [Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	シベリヤ海軍航空隊	昭和17年1月1日	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

186

姓 氏

延年 月 日 時刻

死亡 時 状 況

昭和22年11月27日(民) 戦病死
 延年22年11月27日(民) 戦病死
 延年22年11月27日(民) 戦病死
 延年22年11月27日(民) 戦病死

台

昭和22年11月27日(民)

昭和22年11月27日(民) 戦病死

昭和22年11月27日(民)

入籍番号

年 級

陸 軍

中 尉

氏 名

本籍地

現住所

所属部隊

海軍中務省(海軍省)

※備考

1. 本報書は死後者。身上同一(同一)とある。あ
 復元(同一)詳明に記入(同一)とある。あ
 の記入(同一)とある。あ

東

新

氏

名

姓

氏

舞島上陸地連絡所長

花記ハナキに飲還ノミマゼしを各願書ノミガクシの者の申告ノミガクシに

元	元	元	元
空	空	空	空
一	一	一	一
水	水	水	水
氏	氏	氏	氏
名	名	名	名
病	病	病	病
死	死	死	死
采	采	采	采
失	失	失	失
氏	氏	氏	氏
氏	氏	氏	氏
木	木	木	木
播	播	播	播
地	地	地	地
確	確	確	確
認	認	認	認
理	理	理	理
道	道	道	道
記	記	記	記
事	事	事	事

[illegible]

元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21

元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21

元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21

元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21

元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21
元	空	少尉	病死	21/5/21	病死	21/5/21	埋葬	21/5/21

ア



舞復連第二號の六。

昭和二十二年四月二十七日

舞鵬上陸地連絡所長

各復残務処理部復員業務課長殿

死歿者に関する件 通知(第一號)

左記は、ブホトカより舞鵬に返還した各頭書の者の申告によるものである。

記

甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
武	武	武	武	武	武	武	武	武	武
庫	庫	庫	庫	庫	庫	庫	庫	庫	庫
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
工	工	工	工	工	工	工	工	工	工
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
病	病	病	病	病	病	病	病	病	病
死	死	死	死	死	死	死	死	死	死
大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
腸	腸	腸	腸	腸	腸	腸	腸	腸	腸
炎	炎	炎	炎	炎	炎	炎	炎	炎	炎
以	以	以	以	以	以	以	以	以	以
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
死	死	死	死	死	死	死	死	死	死
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍
地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
記	記	記	記	記	記	記	記	記	記
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事

佐 7202? 佐 佐

整理番號 通 5

元海軍軍人現況不明者調書

所轄(移令年月日) 等 級 氏 名 生年月日 入籍番號 本 籍 地 住 所	留守擔當者 氏 名 現 住 所	既 知 事 項 一、佐世保人事 業務調査料 二、世話課(科) 資料 三、家族(身寄) 承知事項	情報提供 内陸歸還年月日 昭和 年 月 日	部隊 一、編成の時期及び場所(昭和 年 月 日) 二、内地出陣の時期及び場所(昭和 年 月 日) 三、編出要領
水 長 氏 名 生年月日 入籍番號 本 籍 地 住 所	又 氏 名 現 住 所	一、(何)遺骨有無(昭和 年 月 日) (何)遺留品有無 昭和 年 月 日 入籍番號 本 籍 地 住 所	部 隊 等 級 氏 名 入籍番號 現 住 所	これ以上詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載すること 現況不明者個人に関するもの 昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日
本 籍 地 住 所	現 住 所	是 否 承 知 した 事 項 服役(行方不明)の場所 戦没(行方不明)年月日 戦没(行方不明)の原因 戦没(行方不明)時編入 されていた戦斗部隊名	現 住 所	昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日

終 結 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	組乗有便		船艦による事故		同行一同と透明不況現		現況の斗穀動行		
		乗 便	乗 組	事故	船艦	同行一同と透明不況現	同行一同と透明不況現	現況の斗穀動行	現況の斗穀動行	
(公)	佐世保人事業審議にて判定	2127下	五、事故の原因及びその年月日 (空襲、潜水艦、砲撃)	四、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数	三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 (ロ) 寄港地及び年月日	八、歸還の状況 (イ) 開 (ロ) 最 (ハ) 留	七、終戦後の状況 (イ) 給 (ロ) 衛 (ハ) 生	六、終戦時の状況 (イ) 所 (ロ) 隊 (ハ) 傷	五、交戦(被害)の状況 (イ) 空 (ロ) 陸	
										昭和 年 月 日
(明)	佐世保人事業審議にて判定	2127下	六、事故発生時の位置及び被害の状況	七、救難の状況	四、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数	三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 (ロ) 寄港地及び年月日	八、歸還の状況 (イ) 開 (ロ) 最 (ハ) 留	七、終戦後の状況 (イ) 給 (ロ) 衛 (ハ) 生	六、終戦時の状況 (イ) 所 (ロ) 隊 (ハ) 傷	五、交戦(被害)の状況 (イ) 空 (ロ) 陸
昭和 年 月 日										
(不)	佐世保人事業審議にて判定	2127下	七、救難の状況	八、歸還の状況 (イ) 開 (ロ) 最 (ハ) 留	七、終戦後の状況 (イ) 給 (ロ) 衛 (ハ) 生	六、終戦時の状況 (イ) 所 (ロ) 隊 (ハ) 傷	五、交戦(被害)の状況 (イ) 空 (ロ) 陸	四、同部隊名	三、同部隊名	二、同部隊名
昭和 年 月 日										
(生)	佐世保人事業審議にて判定	2127下	七、救難の状況	八、歸還の状況 (イ) 開 (ロ) 最 (ハ) 留	七、終戦後の状況 (イ) 給 (ロ) 衛 (ハ) 生	六、終戦時の状況 (イ) 所 (ロ) 隊 (ハ) 傷	五、交戦(被害)の状況 (イ) 空 (ロ) 陸	四、同部隊名	三、同部隊名	二、同部隊名
昭和 年 月 日										

昭和三年七月二日

舞鶴引揚援護局復員部第二復員課長

各地方復員殘務處理部復員業務課長殿

死没者に關する件通知(第一三號)

三記はナボトカ^ナより舞鶴に飯^レ返した各頭書の者の申告によつてゐる。

記

[illegible]

要人第五號

現況不明者消息調査依頼票 一 二二年五月四日

吳地方復興局人事部長履歴A班

申告者	元部級	氏名	[REDACTED]	支那籍	入籍番号	[REDACTED]
-----	-----	----	------------	-----	------	------------

本籍	籍地	等級	氏名	特許章	入籍日	現別
[REDACTED]	[REDACTED]	一技	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

事項	所轄	五五四設	同上	年	月	日
----	----	------	----	---	---	---

貴殿長付時運動場にて
昭和二十一年二月十三日 死に留日産 一諸に居りて

此後陽台は此後年月日 昭和二十一年二月十三日 病死

此後、場所 由スナサン地巴々ガシタワ牧場所

死者 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

人等 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

友友 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

後員 姓名 年齢 性別 籍貫 死因 備考

大轉盤

4084



舞鶴上陸地連絡所表

各役職務處理部 役員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（茅 號）

左記は「アルトカより舞鶴に販運した各頭書の者の申告によるものである」。

記

[illegible]

昭和二年四月一日

舞鶴上陸地連絡所長

各復業務處理部復員業務課長殿

死歿者二関方子件通知（第 號）

左記は、^コアホ^トカ^ニより舞鶴に販運した各頭書の者の申告によるものである。

2

[illegible]

資料通報名票

(甲)

個人資料	20	○	○	宛	理由	発	発	開
21.3.15(日)推定ソ連へ送る 十八大隊難民隊において 栄養失調症により死亡 した。	通達 番号	通達 番号	決 定	請求 人	部隊 番号 (部隊名又は 所)	原住省引揚後復員 未帰還調査部長	兵地方復員部	岐阜県厚生部世話課長
甲 戦友 提供者現住所氏名 [Redacted]	判 (新)	決 (旧)	21/死 確	20/後 生存	354 設営隊	股	校	印
昭和34年1月23日 通知先 [Redacted]	死亡	諸元	区分	日時 昭和 年 月 日	場面 局 面 スーテン 投簡兵種	留所 氏名	本籍地	右 同
昭和34年1月23日 通知先 [Redacted]	新設	旧設	年月日 昭和 年 月 日	氏名 [Redacted]	上技 氏名 [Redacted]	続柄(父)	各等 等の 処理	男

本票番号 4003

1211

吳地古復員局人事部履歷 A班

現況不明者消息調查依頼票

22年12月12日

4088

榎

運和...
人...

運

人...
氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

30-10

舞復連宗ニ號ヲ六〇

昭和二十二年四月二十七日

舞鶴上陸地連綿所長

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（茅 號）

左記は、デボトカより舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

記

九〇一五	死七者 ワ所醫	等級氏名	九〇一五	二整曹	甲子 ワ所 船者	等級氏名
病死 失養 調	己死 分死 病死	本籍地	以心 才一收	死七午 日時 出死 所亡	坂郷先	坂郷先
遺骨遠面品 九〇一五	受 持 持した上					

死歿者調書

4091

死時状況
 昭和七年八月
 二十一年青子息を病に
 収容所の病室にて死す
 レスホニホリ又
 病死

右曰通學知

昭
和
十
年

級上整氏名

$\frac{7}{10}$	茶 箱
	地

考現住所	同	左
------	---	---

元山空

備考

一、本調書中凡有「（一）」字者，即指「（一）」字。

且詳綱目記入下卷

二他人言調

死 亡 現 認 (確) 証 明 書

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 責 料							現 留 守 担 当 者		本 籍 地		所 属 部 隊	
死 亡 知 照 方 法	遺 留 品 処 理	遺 体 及 び 遺 骸 の 処 理	死 亡 区 分	死 亡 時 間	傷 病 名	死 亡 場 所	死 亡 日 時	区 分	現 留 守 担 当 者	本 籍 地	所 属 部 隊	所 属 部 隊 通 称	所 属 部 隊 細 則	所 属 部 隊 地 区
(証 明 現 認)	なし	現 地 埋 葬	戦 死	昭 和 21. 1. 頃	肺 結 核	スリーマン地区 中央病院一病棟	昭 和 21. 1. 20	内 務 省 (昭 和 21. 1. 20)	都 府 道 縣		元 山 航 空 隊			スリーマン 中央病院
死 亡 者 と の 関 係		死 亡 者 の 現 住 所		死 亡 者 の 所 属 部 隊		死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料		死 亡 者 の 所 属 部 隊		死 亡 者 の 所 属 部 隊		死 亡 者 の 所 属 部 隊		
中 央 病 院 二 病 棟 病 房		中 央 病 院 二 病 棟 病 房		中 央 病 院 二 病 棟 病 房		昭 和 21. 1. 20 日 頃 肺 結 核 一 病 棟 中 央 病 院 中 一 病 棟 に 死 亡 した と 考 へ ら れ ます。		都 府 道 縣		都 府 道 縣		都 府 道 縣		
名 氏 級 階		名 氏 級 階		名 氏 級 階		名 氏 級 階		名 氏 級 階		名 氏 級 階		名 氏 級 階		
186 生 活 歴		186 生 活 歴		186 生 活 歴		186 生 活 歴		186 生 活 歴		186 生 活 歴		186 生 活 歴		



舞後連第二部の

昭和二十二年

月 日

舞鶴上陸地連絡所長

舞後連絡部 後員業務課長殿

死因者に関する件通知(事 辨)

左記は、ナホ方より舞鶴に販運した各頭首の者の申告によるものであります。

記

甲種	乙種	丙種	丁種	戊種	己種	庚種	辛種	壬種	癸種
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
上巻	上巻	上巻	上巻	上巻	上巻	上巻	上巻	上巻	上巻
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷	郷
元	元	元	元	元	元	元	元	元	元
籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍
地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
記	記	記	記	記	記	記	記	記	記

吳地方復甦業務處理部

履歷					
家族 其他	其 他 項 目	特 別 能 力	職 業	特 技	學 歷
			鐵道員		尋小卒
○					
局出 記	20 9. 1	20 7 1	20 3 28	20 3 15	年月日
8/局	三五四校	上級兵	一級兵	吳國入國	記事
○					
2/局					
X					
3/局					
○					
10/局					
X					

2-A

90

4
5
6

以不實之
言
一
分所
同
時
期
下
來
表
大
明

(別表)

82-14

木



舞後連第二號の六。

昭和二十二年四月二十七日

舞鶴工陸地連絡所長

各復残務処理部復員業務課長殿

死没者に関する件 通知(茅 野)

左記は、ナホトカより舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

記

甲種 所轄 者	乙種 所轄 者	丙種 所轄 者	丁種 所轄 者	戊種 所轄 者	己種 所轄 者	庚種 所轄 者	辛種 所轄 者	壬種 所轄 者	癸種 所轄 者
山崎 上 曹	山崎 上 曹	山崎 上 曹	山崎 上 曹	山崎 上 曹	山崎 上 曹	山崎 上 曹	山崎 上 曹	山崎 上 曹	山崎 上 曹
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別	死 別 死 別 死 別 死 別 死 別 死 別
本 籍 地	本 籍 地	本 籍 地	本 籍 地	本 籍 地	本 籍 地	本 籍 地	本 籍 地	本 籍 地	本 籍 地
記 事	記 事	記 事	記 事	記 事	記 事	記 事	記 事	記 事	記 事



昭和二十二年十月二十八日

舞鷗上陸地連絡所長

各復殘務處理部復員業務課長殿

死没者に關する件 通知（第十七號）

左記は、ゴホトカより舞鶴に取還した各頭書の者の申告によるものである。

五

40

舞樓樓二第七號

昭和二十三年六月九日

舞鶴引揚援護局復員部第二役員課長

各地方復員殘務處理部復員業務課長殿

死没者に關する件通知(第一號)

左記はナボトカより舞鶴に飯送した各頭書の者の申告によるものである

記

[illegible]

李父述行

卷之三

地有故民人

明承氏生

仙之在

名記

不

九日一等

九日一等

九日一等

九日一等

自

九日一等

九日一等

无	无
空	空
上	上
整	整

不談人字

同、後漢書に在

王為

三五四
設
一
林
有

三
一
一
一

卷之六

卷之五

語誤一校

萬年下
不測

死休

三
一
技

卷之三

牛馬

大施
并
武
[redacted]
[redacted]

大龍星辰

水
明
天
一
夜
不
眠



昭和二十二年四月三日

舞鶴上陸地連絡所長

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（芽 號）

左記は、ガホトカより舞鶴に販還した各頭書の者の申告によるものである。

記

記

申告書

申告者	所屬	東京通信隊 第1少尉	氏名	入籍地	年齢	性別	婚姻	職業	備考
	職階	少尉							
知得した職階執行方不明者、死亡者等ノ情况	昭和三年三月二日急生肺炎大ニ依リ 二月二日没命ス 遺留品ハ北東室兵曹長 (証アル手書きハ地延) 保管シアリ 當時ノ作業ハ枕標作業ナリ								
死亡者	本 姓 吳 北東室機長								

注意
 (一) 本人ノ在籍地守府縣ニ別紙ヲ添付スル。
 (二) 情況記載ハ田舎レノ略圖ヲサケ加ヘルコト。

吳地方復興業務處理部

調查區分	全圖石	築頁	築頁	築頁
④	726	40		
部隊	354 設	上校		
等級				
氏名	（生年月日）			
入籍				
本籍				
現任所				

家 族 親 族	家		族	其 他 家	特 相	職 業	入 國 前 の 業	特 校	学 歴
	其 他		其 他 家	其 他 家	其 他 家	其 他 家	其 他 家	其 他 家	其 他 家
○	父	母	兄	妹				左 官	國 高 一 修
長 女					20 9 1	20 7 1	20 3 28	20 3 15	年 月 日
○					上 校 兵	一 校 兵	吳 施	吳 國 入 國	記
○					三 五 四 穀				事

1-A
2-A

72

七
考

みまの
失調の
身死とし

一分所
病室下
下欄
示
長

(列
題)

[Redacted text block]

37-10

A



各地方復員殘務處理部復員業務課長殿

左記はナホトカ^レより舞鶴に飯^レ送した各頭書^ノ著^者の申告によるものである

記

六

舞復連第二師の六六

昭和二十二年四月十九日

舞鶴上陸地連絡所長

各復残務処理部 復員業務課長殿

死歿者に関する事件通知(米 辨)

左記は、小下力より舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものであります。

記

甲種首級氏名	乙種首級氏名	丙種首級氏名	丁種首級氏名	戊種首級氏名	己種首級氏名	庚種首級氏名	辛種首級氏名	壬種首級氏名	癸種首級氏名	甲種首級氏名	乙種首級氏名	丙種首級氏名	丁種首級氏名	戊種首級氏名	己種首級氏名	庚種首級氏名	辛種首級氏名	壬種首級氏名	癸種首級氏名
新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死
死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因
死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時
死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所
本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍
籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考

大日本帝國海軍

軍人現況不明者調書

整理番號 26

所 （詳今年月日）		等級	氏名	生年月日	入籍番號	（現本） 住所	（所） 地
九〇（空） （二〇二一）		二番目	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
留守擔當者		氏名					
家族の承知してゐる情況		氏名					
差出日附（部隊符號） 受領年月日（20.7.7） 検閲者印（）		氏名					
本人からの最後の通		氏名					
信 宮崎縣		氏名					
22年2月11日		氏名					
内地出發年月日、場所、乗船名（又は航空機）行先		氏名					
（一）部隊長から何か通知があつたか		氏名					
其		氏名					
戰死年月日		氏名					
死因		氏名					
（一）本人とは何處で何時迄一緒に居たか		氏名					
（二）其の時の本人の状況		氏名					
（三）同部隊名		氏名					
（四）同部隊名		氏名					
（五）同部隊名		氏名					
（六）同部隊名		氏名					
（七）同部隊名		氏名					
（八）同部隊名		氏名					
（九）同部隊名		氏名					
（十）同部隊名		氏名					
（十一）同部隊名		氏名					
（十二）同部隊名		氏名					
（十三）同部隊名		氏名					
（十四）同部隊名		氏名					
（十五）同部隊名		氏名					
（十六）同部隊名		氏名					
（十七）同部隊名		氏名					
（十八）同部隊名		氏名					
（十九）同部隊名		氏名					
（二十）同部隊名		氏名					
（二十一）同部隊名		氏名					
（二十二）同部隊名		氏名					
（二十三）同部隊名		氏名					
（二十四）同部隊名		氏名					
（二十五）同部隊名		氏名					
（二十六）同部隊名		氏名					
（二十七）同部隊名		氏名					
（二十八）同部隊名		氏名					
（二十九）同部隊名		氏名					
（三十）同部隊名		氏名					
（三十一）同部隊名		氏名					
（三十二）同部隊名		氏名					
（三十三）同部隊名		氏名					
（三十四）同部隊名		氏名					
（三十五）同部隊名		氏名					
（三十六）同部隊名		氏名					
（三十七）同部隊名		氏名					
（三十八）同部隊名		氏名					
（三十九）同部隊名		氏名					
（四十）同部隊名		氏名					
（四十一）同部隊名		氏名					
（四十二）同部隊名		氏名					
（四十三）同部隊名		氏名					
（四十四）同部隊名		氏名					
（四十五）同部隊名		氏名					
（四十六）同部隊名		氏名					
（四十七）同部隊名		氏名					
（四十八）同部隊名		氏名					
（四十九）同部隊名		氏名					
（五十）同部隊名		氏名					
（五十一）同部隊名		氏名					
（五十二）同部隊名		氏名					
（五十三）同部隊名		氏名					
（五十四）同部隊名		氏名					
（五十五）同部隊名		氏名					
（五十六）同部隊名		氏名					
（五十七）同部隊名		氏名					
（五十八）同部隊名		氏名					
（五十九）同部隊名		氏名					
（六十）同部隊名		氏名					
（六十一）同部隊名		氏名					
（六十二）同部隊名		氏名					
（六十三）同部隊名		氏名					
（六十四）同部隊名		氏名					
（六十五）同部隊名		氏名					
（六十六）同部隊名		氏名					
（六十七）同部隊名		氏名					
（六十八）同部隊名		氏名					
（六十九）同部隊名		氏名					
（七十）同部隊名		氏名					
（七十一）同部隊名		氏名					
（七十二）同部隊名		氏名					
（七十三）同部隊名		氏名					
（七十四）同部隊名		氏名					
（七十五）同部隊名		氏名					
（七十六）同部隊名		氏名					
（七十七）同部隊名		氏名					
（七十八）同部隊名		氏名					
（七十九）同部隊名		氏名					
（八十）同部隊名		氏名					
（八十一）同部隊名		氏名					
（八十二）同部隊名		氏名					
（八十三）同部隊名		氏名					
（八十四）同部隊名		氏名					
（八十五）同部隊名		氏名					
（八十六）同部隊名		氏名					
（八十七）同部隊名		氏名					
（八十八）同部隊名		氏名					
（八十九）同部隊名		氏名					
（九十）同部隊名		氏名					
（九十一）同部隊名		氏名					
（九十二）同部隊名		氏名					
（九十三）同部隊名		氏名					
（九十四）同部隊名		氏名					
（九十五）同部隊名		氏名					
（九十六）同部隊名		氏名					
（九十七）同部隊名		氏名					
（九十八）同部隊名		氏名					
（九十九）同部隊名		氏名					
（一百）同部隊名		氏名					

10K

26

佐 人 資 料 置	世 話 課 (科) 資 料 及 所 見	其の他究明上参考と なるべき事項	家族渡受領の情況及 取扱経理部	昭和二十一年八月一 日又は其の後に未復 員証を出したか 出してなければその 理由	歸還者から何か 通知があつたか 其の他のところ から何か通知が あつたか (右通知した人 の住所氏名)						
	昭和会は未だ										
		本人の消息をよく 知つてゐると思は れる者の住所氏名 其の他究明上参考 となるべき事項	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="837 1153 965 1288"> ばら 等 </th> <th data-bbox="965 1153 1157 1288"> 作 業 隊 員 な ら ば 等 </th> <th data-bbox="1157 1153 1412 1288"> 行 方 不 明 者 な ら ば 等 </th> <th data-bbox="1412 1153 1492 1288"> ばら 等 </th> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1288 965 1400"> 收 容 年 月 日 場 所 推 定 </td> <td data-bbox="965 1288 1157 1400"> 收 容 年 月 日 場 所 推 定 </td> <td data-bbox="1157 1288 1412 1400"> 生 活 場 所 推 定 </td> <td data-bbox="1412 1288 1492 1400"> 原 年 月 日 場 所 推 定 </td> </tr> </table>	ばら 等	作 業 隊 員 な ら ば 等	行 方 不 明 者 な ら ば 等	ばら 等	收 容 年 月 日 場 所 推 定	收 容 年 月 日 場 所 推 定	生 活 場 所 推 定	原 年 月 日 場 所 推 定
ばら 等	作 業 隊 員 な ら ば 等	行 方 不 明 者 な ら ば 等	ばら 等								
收 容 年 月 日 場 所 推 定	收 容 年 月 日 場 所 推 定	生 活 場 所 推 定	原 年 月 日 場 所 推 定								

一

熊本縣人吉中親前(田)の館内に書き
佐藤保正陸の陸知合とちうに台持り引揚る
に依教辭送せしむるなり

寫

✓ 1

君の最後の一端を涙と共に書き記す

まへりヤスウチヤンに於て 露軍経略の日軍患着收容所(病院)
「おいしめりやい」氣を確に持て大丈丈と云ふ 「や俺はもう駄目だ」
「そんな弱い事を言ふのは内地へ帰還するもの直ぐ頑強さ人々」
「留んではあせぬにたふのう」死んで俺は幸福だ、――
こうして櫻を花咲く春も侍たて誰をうらむものもなく永遠に帰ら
ぬ旅路へ消えて行く戦友がまへりヤの雪を真赤に染めて今日も
一人二人

故郷の春を語り夏を思ひ出し秋を偲んで枕を並べて一意療養
に努めていた戦友 君もその中の一人として、不幸三月四日不
の客とせらふものだった

不祥

宮崎

收容所より梁働に従ふ中

病を得てこの病院へ遷

ゆふのけしき夜ミヤの寒気最も厳しい頃雪の日二月

10.2

二十七日、^{（中略）}君も同じくこゝへ運ばれて来られた。
 君は肺炎を患へたが、安外元氣で病氣等を承けて
 夜半過ぎまで種々移り合つたので、
 當時病院は名田ありで殊に戦勝國と威張つて、口國も
 物を持つる國として、吾は僅かの所持品等もめど、いふ物
 は鏡を突きつけて取上げられた。
 一物論藥局等も僅少しか無く設備も不完全といふよりは、
 並通の家といふ感じの中、各收容所（木材炭礦工場にて病
 を得はるに堪へられなくなつた者はこゝへ運ばれて来ても、結句
 自らの力、意志、志力によつて病を良しにする一か方法はあり
 ます。で、^{（中略）}死んで、死に、日迄炭礦の收容所にて最低の生活
 の生活を送り、生きる為だけの生活、食物をとり、吾々です
 身体は衰弱して殆んど栄養失調に陥つて、いふ、^{（中略）}こゝへ病
 氣を承けて、これと快復するは、色んな異なる種々な手

るが、必要です。これも出来ません。斯うして重患者は、異ふの上

監
記

身体は衰弱して殆んど果養失調に陥りて、
氣を失ひてこれを快復せざるは、色人なる莫からず種々

るが必要なり。これも出来ずん。斯うして重患者は、
と化していつたか。

君は三月三日 今日は内地のヒナ祭りだ。御馳走の敷きと、
餅や合ひなどり容態が衰ひて、傷の軍医殿へ着て載く
戦友が心配して種々手傳ふ。そうして夜間方軍医の
手厚い看護の甲斐も無く多くの戦友は看護られつゝ
永遠に瞳を閉ぢられぬ。死ぬ日まで皆様の事を
そいふ。君を思へば、我々も悲しくなりぬ。かと思ひ
ながら、自分もやめて同じ運命を繰り返して
お所。いふ沢かき。今、内地へ帰る。か出来ず。たのも
君が、あり世から護つて下さつた。わうは、ひめと
今こそ貴家の親類の傍へ人と相知るに及ぶ。二三日でこ
ゝを脱れ。小より。多。時。事を。思。いつ。走。書。て。失。礼。な。ら。君。の
最後の一瞬を書記しお届けす。次第を。

✓ 4

終戦の時より今日までの事を具体的にあらわし
たりも事情が許さずんば家に落付次第遂次くおしく
お報らせると載く心算です今日は取敢えず以上にて
止めます

皆々様の御健勝を祈りて 又



終

軍人現況不明者調書

整理番號

76

未

家族の承知してゐる情況

留守擔當者

(所) 辭令年月日 轄

等級氏名

生年月日

入籍番號

(現本)

住籍

(所地)

留守擔當者 (三、五、三)

氏名 [Redacted]

生年月日 [Redacted]

入籍番號 [Redacted]

(現本)

住籍 [Redacted]

(所地)

歸還者からの情報

提供年月日

情報提供者

同右現住所

本人とは

何時で何

だつたか

其の時の

本人の状

同部隊名

其

戦死 年月日 場所

昭和三十一年三月初旬 常陸生洲症

本人からの最後の通

信

内容

差出日附 ()
部隊符號 ()
受領年月日 ()
檢閲者印 ()

内地出發年月日、場

所、乗船名(又は航

死七番目 7125

(一) 部隊長から何か通知があつたか

熊本縣

4118

87

76

佐人資料 佐人資料	世話 質料及所見 世話 質料及所見	其の他究明上参考となるべき事項 其の他究明上参考となるべき事項	家族渡受領の情況及取扱経理部 家族渡受領の情況及取扱経理部	昭和二十一年八月一日又は其の後に未復員届を出したか出してなければその理由 昭和二十一年八月一日又は其の後に未復員届を出したか出してなければその理由	(一) 歸還者から何か通知があつたか (二) 其の他のどこから何か通知があつたか (右通知した人の住所氏名) (右通知した人の住所氏名)
21.8.5-1800 アムステルダムで米兵乗船部大死七	家族が有様しないうで調査中米兵乗船部大死七 所調査の結果我なり、戦後調査中あり	本人の消息をよく知つてゐると思はれる者の住所氏名 其の他究明上参考となるべき事項	作戦 乗犯 隊員 なる 作戦 乗犯 隊員 なる	行逃 不明 死者 なる 行逃 不明 死者 なる	ばら 等 ばら 等

4119

舞後連第 二掃り六九

昭和二十二年六月十一日

舞鶴上陸地連絡所長

各復殘務處理部 復員業務課長殿

死歿者に關する件通知（等
辦）

左記は、サボト力より界鶴に販運した各頭書の者の申告によるものであります。

遺骨護送者



卷之四

拳籍地

死歿青
謝

現任所

浙西部隊

入園月日

等級

內地港務
年月日

外紀
月日

勸發鵬舉

年 月 日

德

6979
23
年2月11日

昭和二年正月

朝雲齋藏書

三、水工建築設計及施工

子孫永昌

急經神矣

卷之八

4122

48

昭和七年 月 日

死亡時の状況

右の通り承知しておまへり申上げ致しませう

昭和三年十一月 月 日

申告書

入籍者

所在地

現住所

所属部隊

一 本報告者は死没者の身上関係一切を承知し、

に因つて詳細に記入し、

本報告書に

死 亡 現 認 証 明 書

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 資 料									
法 方 知 亡 死	現 住 所	本 籍 地	所 属 部 隊	所 属 部 隊 有 限 公 司	死 亡 日 時	死 亡 場 所	傷 病 名	発 病 時	死 亡 区 分	遺 体 及 遺 物 の 処 理	死 亡 証 明 書 の 出 発 地
有り	〇	〇	〇	〇	昭和33年12月20日	東京市目黒区	肺炎	昭和33年12月	戦死	〇	〇
死亡当時の状況及び備考資料 昭和33年12月20日、東京市目黒区で肺炎を発症し、翌日死亡。死因は肺炎による。死後、遺体は東京市目黒区で発見され、同日死亡宣告。死後、遺体は東京市目黒区で発見され、同日死亡宣告。死後、遺体は東京市目黒区で発見され、同日死亡宣告。											
備考 〇											

裏面記載上の注意を見て書いて下さい (※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点があれば遠慮なく調査官に聞いて下さい)

一、本証明書は、未帰還者の死亡の処理を行う場合の基本となる証書書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記憶が不確実なる箇所には、を付けてその旨を明かにして下さい。

二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した（見た）死水をとつた、屍衛兵に立つた、慰霊祭又は葬儀に立合つた、誰々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。

三、死亡当時の状況はなるべく詳細に記入して下さい。又資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知っている人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴（容貌、体格、特長、職業等）」「死亡者が軍属の場合は、その官等俸給（月給）、採用年月等」その他死亡者について御承知になつてゐることは附記して下さい。

四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補償した場合「」を附して記入し、資料提供者の記入したものと明瞭にすること。

4125

舞復連茅二號の五七

昭和二十二年四月十五日

舞鶴上陸地連絡所長



各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（茅 號）

左記は「デボトカ」より舞鶴に販運した各頭書の者の申告によるものである。

記

遺骨護送者

[illegible]

死 亡 現 認 證 明 書 邦・海・陸

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(※) 一面の各は記載に及びません

資 料 提 供 者
死 亡 知 名 法

死 亡 現 認 證 明 書	本 籍 地	区 分	死 亡 時 期	死 亡 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	死 亡 場 所	死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
死 亡 現 認 證 明 書	7	内 容	21. 1 頃	スーミン地 1 分所	戦 傷	21. 3. 10.	スーミン病院 第一病棟	栄養失調 症	現 地 埋 葬	

死 亡 者 と の 関 係

死 亡 者
勲 功 者
と 志 者

現 住 所
(所 属 部 隊 職 名)

24 歳 通 (一)

(名 姓) 姓 氏

死亡当時の状況及び参考資料
本名は栄養失調で服薬1頃スーミン地
1分所入り院した事
第一病棟4号室に在り當時自分より元
僚の勲功者として在り入院時様度
衰弱として二人掛り車より降し
がわった
当時薬品等極めて不足して患者また
多数あり充分な治療を受ける事
出来ず死した事
死時立会った

所 属 (所 轄)
部 隊 (又は 職 名)
城 名
開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)
本 籍 地
区 分
死 亡 時 期
死 亡 場 所
死 亡 区 分
死 亡 日 時
死 亡 場 所
死 亡 事 由 (傷 病 名)
遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理
遺 留 品 の 処 理
死 亡 者 と の 関 係
現 住 所 (所 属 部 隊 職 名)
24 歳 通 (一)
(名 姓) 姓 氏
死 亡 時 間
死 亡 時 刻
死 亡 時 日
死 亡 時 月
死 亡 時 年
死 亡 時 日 生
女 男

裏面記載上の注意を見て書いて下さい（※及び裏面の各欄は記載に及びません、又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞して下さい）



舞後連第二號の六。

昭和二十二年四月二十日

舞鶴上陸地連絡所長

各復残務処理部役員業務課長殿

死歿者に関する件 通知（第 一 號）

左記は、下すから、舞鶴上陸地連の各頭書の者の申告によるものである。

記

甲種者 の所屬	等級	氏名	死歿 年月日	死歿 場所	本籍地	記事
新東京	一等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	二等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	三等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	四等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	五等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	六等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	七等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	八等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	九等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事
新東京	十等	病死	昭和二十二年四月	舞鶴	本籍地	記事



舞後遷葬ニ就の六。

昭和二十二年四月二十七日

舞鶴上陸地連絡所長

各復残務処理部復員業務課長殿

死歿者に関する件 通知(第 號)

左記は、不トカより舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

記

甲種者	乙種者	丙種者	丁種者	戊種者	己種者	庚種者	辛種者
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
生年月日	生年月日	生年月日	生年月日	生年月日	生年月日	生年月日	生年月日
死年月日	死年月日	死年月日	死年月日	死年月日	死年月日	死年月日	死年月日
死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因
葬所	葬所	葬所	葬所	葬所	葬所	葬所	葬所
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考

寫

舞後連第二聯り六。

昭和二十二年四月

日三十一

舞鶴上陸死連絡所長

各機残務処理部 機員業務課長殿

死歿者に関する件通知(等 辨)

左記は、ガボルカより舞鶴に販運した各願書の者、申告によるものである。

記

申告者	申告者	申告者	申告者
元山空	元山空	元山空	元山空
一水	上水	一水	上水
氏	氏	氏	氏
名	名	名	名
病	病	病	病
死	死	死	死
次	次	次	次
網	網	網	網
二	二	二	二
三	三	三	三
本	本	本	本
籍	籍	籍	籍
地	地	地	地
記	記	記	記
手	手	手	手
戦	戦	戦	戦
友	友	友	友
子	子	子	子
く	く	く	く



舞後連第二號の六。

昭和二十二年四月二十七日

舞鶴上陸地連絡所長

各復残務処理部復員業務課長殿

死歿者に関する件 通知（第 一 号）

左記は、アホトカより舞鶴に収容した各頭書の者の申告によるものである。

記

甲 第 一 号	第 二 号	第 三 号	第 四 号	第 五 号	第 六 号	第 七 号	第 八 号	第 九 号	第 十 号
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者
死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者	死 亡 者

舞鶴上陸地連綿所長

各復職務處理部役員業務課長殿

死歿者に關す件 通知(第 號)

左記は、ナホトカより舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

話

68-10

同 羅漢特根 一水	不明	同	同	同	同	同
同 二水	同	同	同	同	同	同
同 一水	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同

青森連発二子、六二

昭和二十二年五月五日

青森上陸地連絡所表

各地方使、局、人、事、部、長、役、
関係地方志、地、部、長、役、
元、七、前、八、関、寸、作、通、知

左記は、青森、上、陸、地、に、関、し、て、の、大、部、九、七、領、通、一、各、項、目、の、表、中、
吉、に、よ、り、し、て、あ、る、

記

石、版

埠

先

事

青森	上	陸	地	に	関	し	て	の	大	部	九	七	領	通	一	各	項	目	の	表	中
青森	上	陸	地	に	関	し	て	の	大	部	九	七	領	通	一	各	項	目	の	表	中

青森	上	陸	地	に	関	し	て	の	大	部	九	七	領	通	一	各	項	目	の	表	中
青森	上	陸	地	に	関	し	て	の	大	部	九	七	領	通	一	各	項	目	の	表	中

青森	上	陸	地	に	関	し	て	の	大	部	九	七	領	通	一	各	項	目	の	表	中
青森	上	陸	地	に	関	し	て	の	大	部	九	七	領	通	一	各	項	目	の	表	中

尾山持根機兵長

旗元藤本重親三十九

御城南

下宮より関

九〇一定上登曹

旗元志保勝天三十一

大いりし

尾山は上りしと云ふ所

三五四段一技

旗元藤本重親三十二

下りし

致人より関

正山空壁長

旗元志保三十八

下りし

九一一定上登曹

旗元志保勝天三十一

大いりし

新元武蔵守

旗元志保勝天三十一

下りし

新元武蔵守

旗元志保勝天三十一

下りし

正山空壁長

旗元志保勝天三十一

下りし

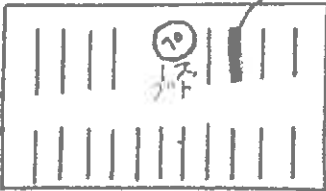
死 亡 (現) (確) 認 証 明 替

[illegible]

裏面記載上の注意を見て書いて下さい（※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査
官に聞いて下さい）

(意注の上載記)

- 一、本証明書は、未帰還者の死亡の処理を行う場合の基本となる証書書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記載が不確実なる箇所には「？」をつけてその旨を明かにして下さい。
- 二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した(見た)死水をとつた、臨終に立合つた、屍衛兵に立つた、慰霊祭又は葬儀に立合つた、葬々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。
- 三、死亡当時の、状況はなるべく詳細に記入して下さい。又参考資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知っている人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴(容貌、体格、特長、前職等)」「死亡者が軍属の場合は、その官等俸給(日給)、採用年月日等」その他死亡者について御承知になつてゐることは附記して下さい。
- 四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補備した場合「」を附して記入し、資料提供者の記入したものと明瞭にすること。

要	摘	宛	由経	発	輪	発
第一編室  ↓ストブより少日の寝台をもちこむ		呉地方復興部長 敬 印		未帰還調査部長 検	昭和49年11月10日 木二甲 第一の49号	先知通 美
見 所 署 公 官 任 担 査 調						
資料区分 の変更	旧 局 未 ↓ 新 死 確					
	厚生省榮援第八号別紙第四に依り地方復興部に於て認定可能な範囲と認む 本資料は、本調査官が第一号所屬を調査し、本名入室済み終結者後により且本名の死を所屬の死体と現認し居る事、尚本名の死体は本所屬等が照らすに本名に同達しないとの確信ある証言を有する本資料は極めて確実なものと認む					

死致者訓書

所屬部隊

第三海軍航空隊

役種

現 兵 裡 水 兵 科

官等級

海軍一等兵曹長

戰地到着年月日

不詳

本籍地

不詳

勤務概要

不詳

卒病年月日

昭和十一年三月二日

病名

肺炎(胸膜炎)

死亡時状況

五三整備隊員八三〇七、沿海洲四三收容所迄同行シ
在一年三月二年肺炎ニシテ第一病院ニ入院、病状
備不完全爲、日増ニ病体ニ悪化シ、遂ニ昭和十一年三
月二十日午前(時刻不詳)死亡シ、死体は同日、聯軍

北亡年月日

年以依り理葬下、遺骨遺留同、持帰下

場所

昭和三十二年三月二十日
沿海洲四三牧家所第一病院

右申告す

昭和三十三年九月十九日

本籍地

[Redacted]

帰郷先右に同じ

所属部隊第五海軍整備隊

二等兵曹

[Redacted]

[Redacted]



舞復連等二號の五七

昭和二十一年四月十五日

舞鶴上陸地連絡所長

各復政務處理部復員業務課長殿

死没者に關する件 通知（第 號）

左記はデボトカより舞鶴に返還した各頭書の省の申告によるものである

智

遺骨發還者

[illegible]

未处理者消息究明調查書

吳地方復員整務處理部

調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地
調查分區	14	213	354	部隊	上	入籍	本籍	現住地

家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他
家族成員	姓名	性別	年齡	職業	教育程度	婚姻狀況	其他

2-1
78

78

一平ノミヨノ月曜ト申告シ大不調報付申度
の御事あるをかう訂正す
平ノミヨノ月曜ト申告シ大不調報付申度
の御事あるをかう訂正す
平ノミヨノ月曜ト申告シ大不調報付申度
の御事あるをかう訂正す

(列)

|||||

53-10

第 組

生存者 確 報 告

報告者ノ當時ノ所屬 (部隊名) 九二龍至隊

報告者ノ官職氏名 (階級) 整備部長

報告者ノ本籍地及び現住所

所屬官職氏 氏 出 身 地

能登上水

[Redacted]

生存父ハ 戦死ハ分 別月日 不明 戦況 詳シ

死後状況

平一ノ三ノ年、春、七日、下リカ、命、工、日、ウ、三、ノ、七、所、下、食、飲、減、退、

二ノ年、八、月、一、日、通、

247-11

一字訂正

昭和貳拾貳年貳月拾八日
戦死認定相成及件願

陸軍上等兵

小生儀昭和貳拾一年十二月五日佐世保港
上陸テシベリヤ地ニテ帰還致シ今般道
家族慰問ノ結果左記ノ者戦死公報無之
タメ種々困惑致居候存何卒特別ノ御
詮議ヲ以テ死亡認定ノ御手續御願致度

託

原籍

留學担当者

全所

現所屬

ウ方九

隊

隊

昭和武松志

参月貳拾九日

海軍

上等兵

收容所

昭和武松志

参月貳拾九日

ハ口フク收容所

戦病死

由原突起炎平御後腹膜炎併發

右現認者

千々八ル一五二三五部隊

一字訂正

陸軍上等兵

遺骨及遺留品現所屬部隊人事係へ交附セリ

本籍地

遺族住所及趣向

所屬部隊

役種

官等級

戰死年月日

勤務概要

受傷要項年月日

受傷部(所)

受傷原因

死因

元山航空隊

六五兵

一等整備

昭和十九年九月

飛行機整備

昭和二十一年三月

米量損失調

昭和二十一年三月

死時、状況
遺言
記事

病死

昭和二十一年三月三十日一六〇。

ワラジオ ホセット

遺言なし

右 申 告 ス

昭和二十一年十一月九日

由本籍地
若 既 郷 宛
若 所 属 部 隊
氏 名

元山海軍航空隊

官 等 級 上 整 備 兵 庫

入 籍 番 号

終



區調查	全國	吳領	吳領
37	178		

未處理者消息究明調查

部隊	354設
----	------

上校



地方役員及務處理部	留于担三哲現住所
-----------	----------

履歷

學歷	特校	入國前	特校	共他	家族
國高卒		土木業			妻
					子
					子
					子
					子

年月日	記	事
2.3.1	吳因入國	
2.3.2	吳	
2.6.16	一校失	
2.7.1	上校失	
2.7.1	三五四破	

刊

舞後復二第七号ノ二六領主様

昭和三年一月三十日

舞鶴司務援護局復員部等復員課長

依世係地方復員課務處理部復員課課長

依賀縣民生部世話課第二復員科長殿

死歿者に用する件通知(第七号)

左記は「ナホトカ」より舞鶴に搬送した頭書の者、申告に依

申告者 等復 氏 名 飯 郎 一 先

撫 燃 五 七

死 亡 氏 名 本 籍 地

病 死 氏 名 死 亡 日 次

註(昭和三年)月撫燃発昭和三年十月廿四日地色カラスン着此の間

列車輸送途中発病す。多クモ収容所入所と同時に入宜治療



十一月十四日午後二時、月二日頃退室するも又、壬午（月）中旬頃二日、月
入室治療中、其後新設病院に転院入院後一週間位で死
亡した由を報告した機、燃在隊署時より同班員の中を報告した班長代理
の職にある者が入った後、常は一輔で発病後、死亡に至る迄責
任を以て看護に盡す、死亡は確認し、死体は自らの埋葬に
遺品は枝太尉 [] 加保等 [] したうがある。
此處番は申告者以外に既般還の、工古故 [] 人事
係（此の功朝月死）般即先 []
枝太尉 [] 當時の隊長（此の功信洋丸）般即先
の兩人も死亡を良くと知って
居るもの事がある。

（寫送附先）

第一復員局残勢處理部復員業務課長

（總）

未處理者消息究明調書

吳地方復興殘務處理部

調査區分	全圖名簿頁	吳地名簿頁	簿頁
殘	176	37	
部隊	空山元	整長	
等級			
氏名			
入籍			
本籍			
留守担当者			
現住所			

學歷	特種	職入	特種	其他	家族	其他
學	技	農	業			
國						
高						
卒						
年月日	19.12.1	19.6.1	20.9.1			
記事	吳國入部	大村空山分	上山空	整長		

臺灣郵政

書 畫

可 亡 死

[illegible]

總發行所

26-3-23 = 續業第2種六

哮喘

129

死 亡 現 認 (確) 証 明 書

裏面記載上の注意を見て書き下されい。※及び裏面の各欄は記載に及びません。父書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に問うて下さい。

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 資 料					死 亡 現 認 者		所 属 部 隊		地 区 局 面		役 職		年 月 日 生	
法方たつ知を亡死	証留品の理の	遺骨及び遺物の処理	死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所	死亡日時	区分	現住場所	本籍地	所 属 部 隊	地 区 局 面	役 職	年 月 日 生	年 月 日 生	年 月 日 生
左	自	分	戦	略	栄	不	略	内	都	都	三	※	兵	年	月	日
係関のと者亡死	同	同	死	順	疾	安	10	容	都	都	分	所	上	年	月	日
隊部属所所住現	五	五	※	※	※	※	※	難	都	都	所	所	氏	年	月	日
名氏級階	五	五	※	※	※	※	※	難	都	都	所	所	氏	年	月	日

死亡当時の状況及び参考資料

本名は入ノ後不ノケン地正一分所自合
 遺上ノ略は炭坑作業に従事してゐた
 略又ノ順栄養疾調に罹リ一分所
 内病室に入室されしをが病勢日増に
 悪化し略又ノ順同病室に於て死せし
 本名ハノ順及ハノ順等ヲ知照しモガ
 本名ハノ順ナリ

昭和 4 年 11 月 10 日
 始末 第一号 49 号

米歸還調査部長

地方復興部長

印

検

先知通
 米 (印)
 米 (印)

見 所 署 公 官 任 担 査 調 緯 経 手 入

（スーパースト）
 昭和三十九年十一月十日
 本署調査係は、第一号所正務室へ
 米動員係より、本署入室者初より終始者
 初より終始者、死亡者、死亡者の死因を現
 在に居り、本署の調査員及び事務係等
 を別室に、本署の調査員及び事務係等
 確実なものとする。
 厚生省警察第八号別紙第四は、依り
 地方復興部に於て認定可能の
 範囲と認む。

資料区分 旧 向末
 の変更
 新死確

（意注の上載記）

- 一、本証明書は、米歸還者の死亡の処理を行う場合の基本となる証拠書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記
 憶が不確実なる箇所には、をのけてその旨を明かにして下さい。
- 二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した（見た）死水をとつた、車終に立合つた、屍衛兵に立つた、慰靈祭又は葬儀に
 立会つた、誰々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。
- 三、死亡當時の、状況はなるべく詳細に記入して下さい。又資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知つてゐる人があれ
 ばその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴（容貌、体格、服装、前職等）」「死亡者が軍属の場合は、その官等俸給
 （月給）、採用年月日等」その他死亡者について御存知になつてゐることは附記して下さい。
- 四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補填した場合「」を附して記入し、資料提供者の記
 入したものと明瞭にすること。

卒	籍地	現任所	本籍地二同じ
所屬部	海軍第三五四設営隊	入隊年月	昭和二十一年三月一日
官階	海軍少佐	氏名	氏名
内地補出年月日	昭和二十一年六月十八日	生年月日	昭和二十一年六月十八日
外地到着年月日	六月二十三日	入籍	入籍
勤務ノ概要	一 昭和二十一年五月日 吳淞兵團第三五四設営隊 一 昭和二十一年八月三日 天元山ノ軍ニ收容サル 一 昭和二十一年四月 一 聯沿湧州スノヤニ市ニ於 于死歿ス	急性肺炎	急性肺炎
發病(受傷)年月日	昭和二十一年三月中旬	病名(受傷部位)	急性肺炎
發病(受傷)一覽(一)又一	果即ノ下及ノ氣促ト劇シ又食糧ノ不足ヲ知ル		

4162

114

戦死時ノ状況

死亡年月日時刻及場所

三連月ノ重傷ノ後、一週間ノ養育ヲ受ケ、然レモ氣力ハナク、多量ノ吐血ヲ見セ、昭和二十一年四月廿五日、東京市第一病室ニ於テ死亡ス

右申付ス

昭和二十一年十二月十五日

氏名	所屬部隊	現住所	本籍地
氏名	第三五回設営隊	本籍地不明	
入籍番號	中等級	中尉	

備考

- (一) 本調書ハ前隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復興局人事部長宛通報シ非スト認ムルモノノミニ付記載ス
- (二) 吳鎮在時ノ特務士官、准士官、下士官、兵ニ付記載ス
- (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
- (四) 得知シアル範圍ニ於テ出來得ル限り詳細ニ記載ス
- (五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該局ニ相手方ヲ記載ス
- (六) 遺付 矢

吳市

吳地方復興局人事部長宛



舞後連第ニ號の六。

昭和二十二年四月二十七日

舞鶴上陸地連絡所長

各復残務処理部復員業務課長殿

死歿者に関する件 通知（第 一 號）

左記は「ア」ト「カ」より舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

記

甲 署 者	年 級	氏 名	職 名	死 亡 年 月 日	死 亡 所	本 籍 地	記 事
羅津橋 根	二 曹	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
羅津橋 根	一 水	[Redacted]	病 死	昭和二十二年四月	舞鶴	[Redacted]	おんよりきく



昭和二十二年四月五日

舞鶴上陸地連綴所長

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件・通知（第 號）

左記は、デボトカより舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

حیات

4165

舞後連茅二號ヲ九二

昭和二十四年九月三日

舞鶴上陸地連絡所長

冬復殘務處理部復員業務課長殿

死双晋に關する件 通知（第一五號）

左記は「不トカより舞鶴に返還した各頭番の者の申告によるものである

答

卸

先

	陸軍	一等兵	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	甲 所轄者	年級	氏名	職	先
羅根機長	羅根機長	[REDACTED]	事故	代理機長 2/4 20 第1次	2/4 20 第1次	[REDACTED]	本籍地	確証	死因	死因	死因	死因	死因	死因

光緒二十二年九月三日

各地方復員委員會辦事處設
閩侯民生警察廳無誤長

身任二陸元運給所長

元亡後仁宗年子件通知蒙古事

[illegible]

鎮地 軍屋	病延胸腹炎 21.4.20 同病室へ入	北栗屋 一室 21.6 同病室へ入	清津屋 上曹 病延カッテ 21.6 同病室へ入	元 一室 病延下痢 20.10.21 同病室へ入	九〇一室 聖長 病延未失 21.11.6 同病室へ入	九〇一室 一室 病延未失 21.12.13 同病室へ入	九〇一室 一室 病延未失 21.12.13 同病室へ入
----------	---------------------------	----------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	--	---	---

(終り)

ウ



舞後連第二號のホ。

昭和二十二年四月二十七日

舞鶴上陸地連絡所長

各復務務処理部復員業務課長殿

死没者に関する件 通知(第 號)

左記は、ホルトカより舞鶴上陸地連絡所長に各頭書の者の申告によるものである。

記

甲種者	乙種者	丙種者	丁種者	戊種者	己種者	庚種者	辛種者	壬種者	癸種者
山空	山空	山空	山空	山空	山空	山空	山空	山空	山空
整	整	整	整	整	整	整	整	整	整
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
病	病	病	病	病	病	病	病	病	病
死	死	死	死	死	死	死	死	死	死
下	下	下	下	下	下	下	下	下	下
痢	痢	痢	痢	痢	痢	痢	痢	痢	痢
以	以	以	以	以	以	以	以	以	以
外	外	外	外	外	外	外	外	外	外
死	死	死	死	死	死	死	死	死	死
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍
地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
記	記	記	記	記	記	記	記	記	記
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事



昭和二十二年四月五日

舞鶴上陸地連綿所長

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（第 一 號）

左記は、ブトカより舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

記

[illegible]

方人演村

為

舞復連第ニ辨り

昭 二十二年

月 日

舞鶴上陸地連絡所長

各復務務処理部 復員業務課長殿

死没者に關する件通知(第 辨)

左記に示す方より舞鶴に販送した各頭書の方の申告によるものであり

記

元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空
元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空	元山空

4174

50-11

50-10